

第1章 計画策定の目的 第1節 計画策定の目的 第2節 計画の対象区域と計画期間 1. 対象区域／2. 東北圏の位置づけ／3. 計画期間

第2章 東北圏を取り巻く状況と地域特性の把握

第1節 東北圏が歩んできた歴史

第2節 東北圏の特徴と魅力

1. 広大な圏土と豊かな自然環境
2. 広範囲に都市が分散する圏土構造
3. 気象、災害等の自然の脅威
4. 特徴ある祭り、伝統、文化、冬の魅力
5. 食料とエネルギーのポテンシャル
6. 優れた人材や技術、ものづくり技術

第3節 東北圏を取り巻く潮流

1. 人口減少・高齢化の進行
2. グローバル化の進展や東アジアの経済成長
3. 情報通信技術（ICT）の発達
4. 安全・安心、地球環境、美しい景観や文化に対する意識の高まり
5. ライフスタイルの多様化、公の役割を果たす主体の成長

第4節 東北圏発展の課題

1. 自然災害に対する安全・安心の確保
2. 克雪・利雪の推進
3. 産業の活性化、競争力ある産業の振興
4. 国際交流・連携の強化
5. 豊かな自然との共生、循環型社会の構築
6. 美しい東北圏の圏土の保全と活用
7. 人口減少社会・高齢化への対応
8. 若者の定着、人材育成

第3章 これから10年で東北圏が目指す姿

第1節 東北圏の新しい将来像

1. 新しい将来像
2. 計画の基本方針
 - (1) 人と自然が共生し地球に優しく生命力あふれる空間
 - (2) 自立的・持続的な成長を実現する東北にっぽん自立経済圏
 - (3) 一人ひとりの自立意識と協働で創る東北圏
3. 新しい将来像実現のための5つの戦略的目標

第4章 戦略的目標と実現のための主要な施策

第1節 恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現

1. 地球環境保全のための低炭素社会・循環型社会の構築
2. 美しい四季に彩られる森林や田園、川や海辺の保全と継承
3. 豊かな水環境と海域の環境保全・再生・利用

第2節 雪にも強く安全で安心して暮らせる温もりのある人に優しい圏域の実現

1. 災害に備えたしなやかな圏域の形成
2. 冬に強い地域づくりの推進
3. 都市と農山漁村の共生と交流を推進する生活圏域（東北発コンパクトシティ）の形成
4. 地域の持続的な発展の核となる活力ある都市の形成
5. 暮らしやすい農山漁村の形成
6. 人に優しい圏域づくり

第3節 地域の資源、特性を活かした

世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現

1. 国際競争力を持つ産業群の形成
2. 地球に優しいエネルギーの安定供給と
世界を先導するエネルギー技術開発の推進
3. 東北圏の総合力が支える持続可能な農林水産業の創出
4. 東北圏ならではの地域資源を活かした観光交流の拡大

第4節 交流・連携機能の強化による世界に開かれた圏域の実現

1. 「環太平洋・環日本海ゲートウェイ」の形成
2. 高速交通交流圏の形成
3. 圏域内外を結ぶ多様で重層的なネットワークの形成

第5節 東北圏民が一体となって地域を考え行動する圏域の実現

1. 「東北にっぽん」を創造する地域づくり協働体の構築
2. 「東北にっぽん」の創造を支える人材の育成と活用

第5章 計画の推進に向けて（検討中）

- 第1節 推進体制
- 第2節 重点的・選択的な資源投入
- 第3節 計画のモニタリング
- 第4節 他圏域等との連携
- 第5節 他の計画等との連携